

2025年3月期  
第1四半期

決算補足説明資料

2024年8月14日

# 連結業績推移 – 第1四半期

## 25.3期 1Q業績

繁忙期の売上は堅調だったものの、前期の直営店舗、ファインダイニング店舗の閉店による、売上高の減少、円安による仕入れ価格の高騰等に伴い減収減益

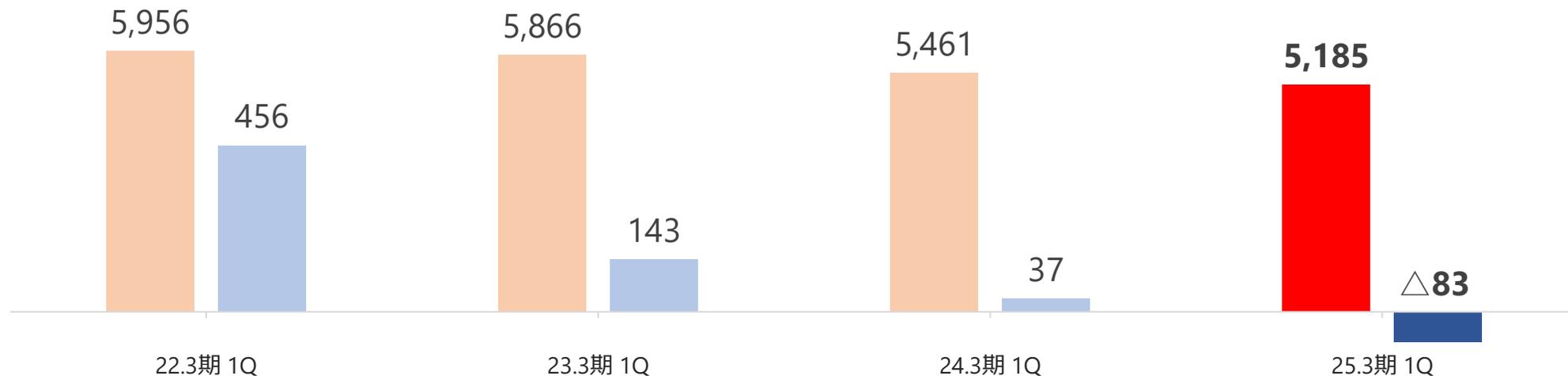
<売上高> 前期比  $\Delta 275$  百万円、増減率  $\Delta 5.1\%$

- ・ゴールデンウィークや母の日等の繁忙期の売上は堅調だったものの、前年の直営店舗、ファインダイニング店舗の閉店等により、減収となる。

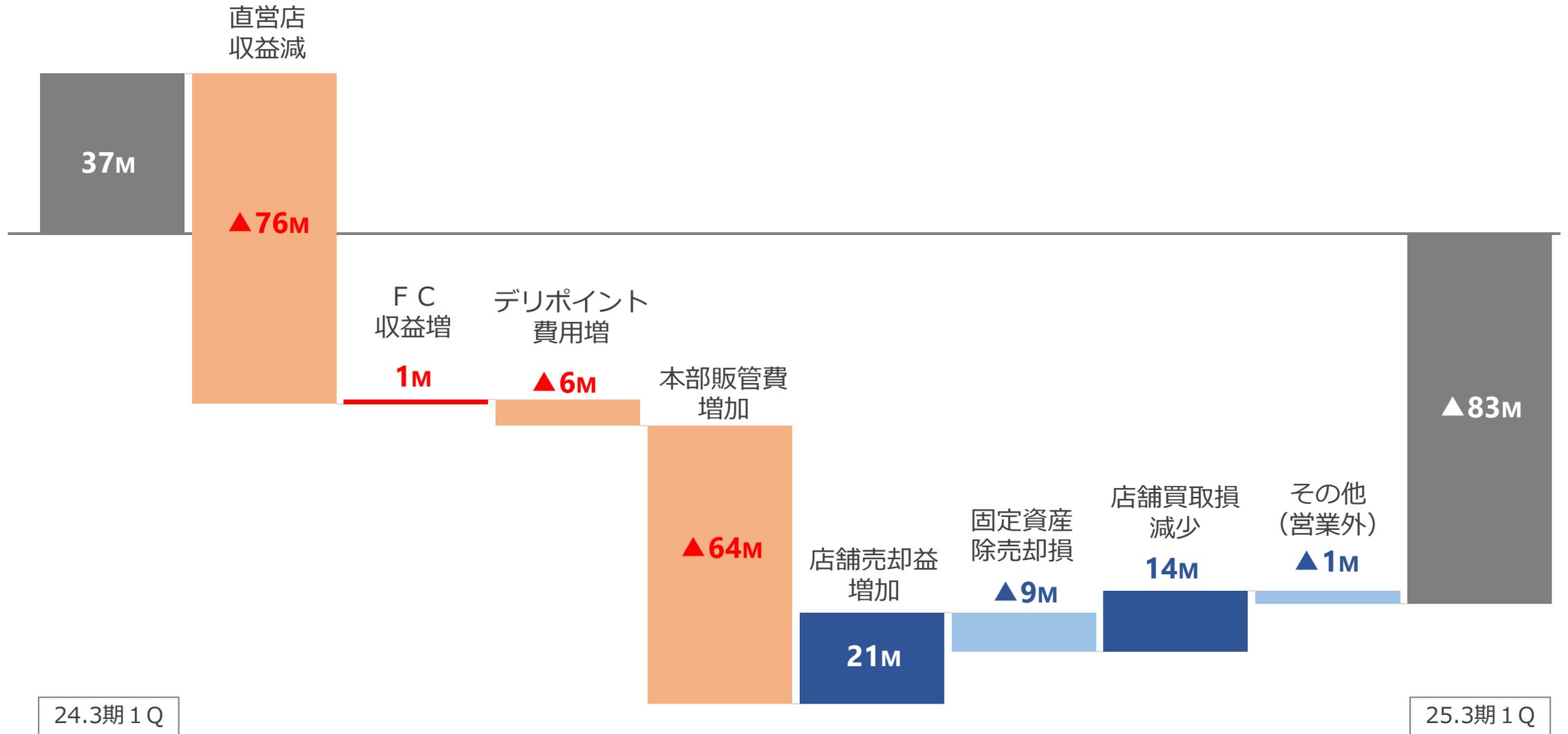
<経常利益> 前期比  $\Delta 121$  百万円、増減率  $- \%$

- ・円安による仕入れ価格の高騰による原価率の増加、また新紙幣対応によるソフトウェアのバージョンアップコスト等の一時的な費用増加等により、減益となる。

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



# 経常利益の前期比増減の構成 第1四半期



## 店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	24.3期末 店舗数	出店	閉店	25.3期 1Q店舗数
宅配事業	銀のさら	375	1	△3	373
	釜寅	230	－	△3	227
	すし上等！	135	1	△2	134
	銀のさら 和(なごみ)	10	－	－	10
	DEKITATE	1	－	－	1
宅配代行事業	ファインダイナ	12	－	△12	0
その他	和食レストラン	1	－	－	1
合計		764	2	△20	746

	24.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	25.3期 1Q拠点数
直営店	105	1	△2	△1	103
FC店	273	－	△3	1	271
合計	378	1	△5	0	374

# 連結B/S 対前期末

(単位：百万円)	24.3期末	25.3期 1Q	前期比	ポイント
流動資産	9,542	8,672	△869	<b>資産 △501百万円</b> ----- 【流動資産】 △869百万円 ・ 現金及び預金 △668百万円 ・ 繰延税金資産 △176百万円 ・ 売掛金 △118百万円 【固定資産】 +368百万円 【投資その他資産】 +428百万円 ・ 投資有価証券 +607百万円
(うち現預金)	7,471	6,802	△668	
有形固定資産	640	613	△26	
無形固定資産	342	308	△33	
投資その他資産	2,453	2,882	+428	
<b>資産合計</b>	<b>12,978</b>	<b>12,477</b>	<b>△501</b>	
流動負債	3,512	3,029	△482	<b>負債 △637百万円</b> ----- 【流動負債】 △482百万円 ・ 未払金 △276百万円 ・ 未払法人税 △127百万円 ・ 買掛金 △71百万円 【固定負債】 △154百万円 ・ 長期借入金 △153百万円
(うち1年内有利子負債)	613	613	0	
固定負債	2,203	2,048	△154	
(うち1年超有利子負債)	1,661	1,507	△153	
<b>負債合計</b>	<b>5,715</b>	<b>5,077</b>	<b>△637</b>	
株主資本	7,111	6,847	△264	<b>純資産 +136百万円</b> ----- 【株主資本】 △264百万円 ・ 有価証券評価差額金 +400百万円 ・ 配当金 △146百万円 ・ 四半期純損失 △118百万円
<b>純資産合計</b>	<b>7,263</b>	<b>7,399</b>	<b>+136</b>	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>12,978</b>	<b>12,477</b>	<b>△501</b>	

## 2025年3月期の業績予想について- 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
第2四半期	10,633	230	222	130
通期	23,188	1,151	1,135	709

新型コロナウイルスの影響が収まったことにより繁忙期の売上は堅調であり、8月のお盆時期においても同様に推移することが見込まれます。

また、当社グループは年末年始を一番の繁忙期としていることから、営業利益が下期に偏重する事業特性を有していること、さらに2024年10月の仕入れ価格の高騰に対応するメニュー改定により収益構造の改善を行う予定であることから、当期に関してはより下期偏重となる見通しで、連結業績予想を作成しております。

以上により、2025年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

# 取り組み：使い捨て用寿司桶容器の厚さを0.1mm削減 大幅なプラスチック使用量減で年間約49.7トンのCO<sub>2</sub>削減見込み

宅配寿司「銀のさら」では、使い捨て用の寿司桶容器としてプラスチック製の容器を採用していますが、今回その厚さを0.1mm削減いたしました。全体平均値で13.3%のプラスチック量の減量となり、年間で約49.7トンのCO<sub>2</sub>削減を見込んでいます。

今後も、お客様からの要望と、環境に配慮した取り組みを踏まえて、プラスチック使用量の減量を進めていきます。



# 取り組み：「完全養殖魚」近大生まれ『ブリヒラ』を販売

宅配寿司「銀のさら」では、「完全養殖魚」近大生まれ『ブリヒラ』を期間限定で販売しました。

「ブリヒラ」は、「ブリの雌」と「ヒラマサ」の雄から生まれた交雑魚で、その名の通り、「ブリ」のうまみと「ヒラマサ」の食感と美しさを併せ持った「いいとこ取り」の魚です。

「ブリヒラ」は、「近畿大学水産研究所」が昭和45年に品種開発に成功し、産業化を実現させました。ブリ類の交雑種で産業化に成功したのは、世界でも初めての事例です。

今後も、販売を広げていくことで、「持続可能な養殖業の発展と地域の発展」への貢献に寄与してまいります。



# 取り組み：「釜寅」20周年を記念した今までにない釜飯体験を ハーフ&ハーフで楽しむ『選べる釜飯』

宅配御膳「釜寅」では、ブランド誕生20周年を記念した、期間限定商品、『選べる釜飯』を販売しました。

通常の釜飯とは違い、『選べる釜飯』は具材を“2パターン”選べるハーフ&ハーフの釜飯で、さらにトッピングを選び自分好みにカスタマイズできる、今までにない特別な商品です。

誕生20周年を迎える「釜寅」は、食卓へ笑顔を届ける宅配サービスとして、素材や作り方にこだわり、今後も様々な取り組みや商品を展開してまいります。



# 取り組み：父の日にお父さんが食べたい寿司ネタだけで作った寿司桶 『ありがとう』を期間限定で販売

宅配寿司「銀のさら」では、WEB会員に対して今年の父の日について調査を行い、お父さんから「父の日に食べたいお寿司のネタ」を聞いて完成した特別商品『ありがとう』を、期間限定で販売しました。

また、今回の特別商品『ありがとう』は1人前～5人前までご用意。いつもがんばっているお父さんへの感謝の気持ちを一緒に届けられるよう、『ありがとう』という寿司桶名にしました。



父の日シーズン限定『ありがとう』



*RIDE ON EXPRESS*  
*HOLDINGS*